

2022 緑高 SSH

第1号



2022年10月20日

緑の探究Ⅰ(1年生)

SSHとなった本校の学校設定科目「緑の探究Ⅰ」では、データをもとに課題を見出し、実験や調査によって課題の解決方法を探る探究活動がスタートしました。緑の探究Ⅰでは「水」に関するミッションを解決するべく、株式会社オオスミ、ウォータースタンド株式会社、JICA(国際協力機構)横浜、水産研究・教育機構の4つの機関の指導のもと、グループごとに探究活動を行っています。10月13日(木)には、研究の中間報告会を行いました。ここでの反省点をもとに計画を練り直し、今後の実験・調査を進めます。



総合的な探究の時間(2年生)

今年度は、“TQ so match!! ~Advanced~”(タンキューソーマッチアドヴァンスト)というテーマで活動しています。昨年度は”Advanced”はついておらず、日常生活で出会うさまざまな人やものに感謝しながら、たくさん探究をし、自分や社会と探究をマッチさせていこうとグループ単位で活動していました。今年度は7つの分野に分かれて、個人単位での探究活動となっております。前期は、テーマを考える前に、青山学院大学の伊藤一成教授や日本科学未来館の池辺靖さんの「生の声、生の研究」を聞き、テーマ設定から分析、研究倫理などについての理解を深めたり、探究計画についての中間発表を2回行ったりする中で、探究内容を深く掘り下げることができたようです。また、一部生徒は設定した課題を解決するために、自ら外部機関を探し、連携し、課題の解決を目指しています。

SSH生徒研究発表会で発表しました

令和4年度SSH生徒研究発表会に、2年生3名が参加しました。1年生のときに探究した「睡眠と体型の関係」についてポスター発表しました。参加した生徒からは、「キャッチーさは他と比べたらあったのではないかなと思う。」「他校の研究のレベルがとても高いと感じた。」「この実験でこうだったから追加実験を行うなどしてみると良かったのかもしれない。」「ポスターが通路からは見えにくいから、遠目で見てインパクトのある何かを見えやすく設置した方がいい。」などの成果と反省が挙げられました。SSH1年目!!ということで、右も左もよくわからないながら、参加した3名は本当によく頑張りました~!!



日本土壌肥料学会 2022 東京大会でポスター発表をしました(9月13日)

化学生物同好会が「カボチャの種、捨てますか?育てますか?」という題目で、カボチャの発芽率と成長速度を決定する要因は土の種類にあるという仮説を立て、異なる種類の土で発芽・生育実験を行った結果を報告しました。参加した生徒は、他校生徒や研究者たちの発表を見て大きな刺激を受けました。



生物オリンピックの国内予選に5名が挑戦しました(7月17日)

【教員】鳥取県立鳥取西高校を視察してきました。(6月21日)

【教員】愛知県立岡崎高校を視察してきました。(7月27日)

【教員】愛知県立豊田西高校の生徒発表会を見学してきました。(7月28日)

【教員】茨城県立緑岡高校の生徒発表会を見学してきました。(7月25日)